

2022年03月22日(火)【外為Lab】松田哲

タイトル:【ロシア・ウクライナ戦争の早期終結は難しい】

ロシア・ウクライナ戦争の停戦に関する合意は、なかなか進展しない。

マスコミの報道で、停戦に関する協議が行われることが発表されると、多くの人は、

「さすがに、ウクライナが、妥協するのではないか？」

あるいは、

「ロシアが、妥協するのではないか？」

といった思惑が広がり、停戦への合意に期待が高まる様子だ。

+++++

期待が高まる様子は、マーケットを見ていればわかる。

停戦への協議が開催されるたびに、マーケット（金融市場、株式市場、外国為替市場、商品市場など）は、「リスク・オフ」から「リスク・オン」へチェンジする。

しかし、協議は、いつも合意に至らず、次回の協議に持ち越しとなっている。

+++++

マスコミの報道にしても、多くの人たちの期待にしても、ロシアの立場、ウクライナの立場を理解していない、と感じる。

ウクライナにしてみれば、ロシアの要求を受け入れて、妥結することは、ウクライナという国家そのものを失うことを意味する。

形の上では、ウクライナという国は存在するのだろうが、事実上はロシアの傀儡政権となり、ロシアの属国に等しいことになる。

ウクライナという独立国家が消滅することになる。

ウクライナにとっては、とても妥協できる条件ではない。

+++++

ロシアにしてみれば、というより、プーチン露大統領にしてみれば、今、妥結することは、すなわちロシアの敗戦に等しい。

ロシアにとって、得るところが無ければ、あるいは少なければ、ロシアの払った多大な犠牲と戦費は無駄になる。

ロシアが、一方的にウクライナに侵攻したのだから、ロシアが世界中から非難されることは免れない。

そして、ロシアに対する経済制裁は、直ぐには解除されないであろう。

時間が経過すれば、ロシア国民にも事実が明らかにされるであろう。

それは、プーチン露大統領の敗北を意味し、政権を維持することが難しくなる。

プーチン氏にしてみても、現状では、とても妥協できる情勢ではない。

それは、プーチン氏にとっての死活問題そのものだ。

+++++

個人的には、このロシア・ウクライナ戦争が、今後どうなるのか、全く想像がつかない。

現状では、ロシアのウクライナに対する停戦条件は緩和できない、と思料する。

だから、ロシアのウクライナに対する攻撃は、より一層激化する、と考えます。

しかしながら、それでも、ウクライナが屈服することはない、と考えます。

ウクライナという国が存在するか、否かの問題なのだから。

+++++

個人的には、このロシア・ウクライナ戦争が、早期に終結することを望んでいます

しかし、残念ながら、早期に終結する可能性が低いという結論しか導けない。

+++++

相場に臨むに際しては、上記結論に従って対処する、と考えます。

+++++

+++++

(2022年03月22日東京時間12:55記述)